

令和4年度永山まちづくり実行委員会の活動報告一覧

No	実行委員会	事業の実施状況
1	永山冬みち守り隊	<p>1 事業概要 雪国のテーマとして住民の日常生活と密接に関係が深い、生活道路の除排雪の問題は重要な課題である。そこで、住民の空き地を無償でお借りして、交差点の雪を排雪するなど取り組むことで成果をあげてきている。本年度もまち協で実行委員会を立ち上げ、各市民委員会に自主説明会、並びにパトロールの実施等啓蒙活動を実施した。</p> <p>2 R4年度の活動内容 (1)会議 令和4年12月9日(金) 実行委員会 永山三区会館 (2)除排雪状況パトロール 第1回 令和5年1月9日(月) 永山第三地区市民委員会にて実施 参加者34名 第2回 令和5年1月15日(日) 永山むつみ町内会にて実施 参加者24名 第3回 令和5年1月20日(金) 永山南西地区市民委員会にて実施 参加者26名 第4回 令和5年1月22日(日) 永山南地区市民委員会にて実施 参加者22名 第5回 令和5年1月23日(木) 永山第三地区市民委員会にて実施 参加者36名</p> <p>3 成果と課題 本事業の取組みに対して地域各企業・市民の理解が得られ、所有する空き地を利用した除排雪等の活動を促進させてきた。又、本事業も10年目になり、住民説明会・パトロール等の実施により、路上駐車はほとんどなく、道路への雪出しもかなり改善された。 永山まちづくり推進協議会として本事業に取り組んで徐々に成果が現れてきているが、一部の住民が敷地内の雪を道路に出しているとの報告を受けており、この事業を継続することが大切だと思っている。他の市民委員会についても本事業を広めていくことが必要であると考えている。</p>
2	永山地域文化振興実行委員会	<p>1 事業概要 永山文化協会が成果を報告する永山地区文化祭（10月開催）において、地域の郷土資料館が保管している歴史資料の展示、併せて、郷土資料への愛着や関心を高めてもらえるよう、展示資料の選定や会場設営において、旭川大学など高等教育機関の学生、生徒に作業協力を提案することを計画していた。</p> <p>2 R4年度の活動内容 新型コロナウイルス感染拡大のため、永山地区文化祭が中止になったことにより、事業の実施には至らなかった。 委員と書面で協議した結果、今年度の事業は未実施とし、今年度出来なかったことを来年度に実施する予定である。</p>
3	地域のオタスケマン実行委員会	<p>1 事業概要 小学生のうちから町内会の大切さやボランティアについて理解してもらう事業を実施する。</p> <p>2 R4年度の活動内容 ●令和4年6月21日(火)に、永山西小学校3年生全クラス訪問 ・「総合的な学習の時間」の授業の中で、地区市民委員会会長・交通部長・見守り隊の3人が、地域を守る「オタスケマン」として、どのような活動をしているか、お話をを行った。 ・町内会活動や交通安全、ゴミ拾い、地域のお祭りの運営など、オタスケマンが自分たちの暮らしを支えてくれていることを知った児童から、たくさん質問があった。 ・後日、児童から、お礼のお手紙が届いた。小学生の頃から、町内会やボランティア活動の大切さを理解し、地域を守るオタスケマンになってほしいと願っている。</p>

No	実行委員会	事業の実施状況
4	旭川大学の屯田まつり支援実行委員会	<p>1 事業概要 令和4年7月30日(土)～31日(日)に3年ぶりに開催された永山屯田まつりにおいて、永山第二市民委員会と旭川大学の学生と一緒にあんどんづくり等を通じて、地域の歴史等を学ぶ。</p> <p>2 R4年度の活動内容 学生と市民委員会で話し合い、学生が支援できる場を模索したが、学生の試験期間と重なるなどスケジュール調整ができなかった。 ・会議 令和4年5月27日(金) 永山公民館工芸指導室 永山第二市民委員会、旭川大学OB等計10名参加</p> <p>3 来年度に向けた話合いの実施 ・会議 令和4年11月21日(月) 永山支所会議室 永山第二市民委員会、旭川大学関係者等計4名参加 ・会議 令和5年3月13日(月) 永山公民館小会議室 永山第二市民委員会、旭川大学関係者等5名参加</p>
5	永山第三SOSネットワーク実行委員会	<p>1 事業概要 永山第三市民委員会、むつみ町内会の地域において、認知症等による行方不明者、帰宅困難者に対応するため、SOSネットワークづくりを進める。</p> <p>2 R4年度の活動内容 ○今後の体制構築に向けた会議を5回開催 ○令和4年8月30日(火) 研修会開催 町内会長等を対象に、永山第3市民委員会と合同で研修会を開催。シンポジウム形式で春光台のSOSネットワーク、永山第2町内会の見守りの取り組み、実際に行方不明になった認知症の父親を介護する家族の思いについてなどの発表があり、SOSネットワークの必要性について理解を促す内容であった。 ○令和5年3月13日(月) 搜索模擬訓練の実施(永山三区会館) LINEを使った訓練を実施した。 ○町内会長宛に地域ボランティアの要請を依頼し、今後説明会を実施予定。地域住民や関係機関が、少しでも早期に搜索できることと、見守り体制を構築することを目的としたSOSネットワークを、R5年度早期に設立できるよう活動している。</p>
6	まちづくりニュース作成実行委員会	○各実行委員会が実施した事業をまとめたニュースを発行予定。
7	永山地区子どもの学習支援実行委員会	<p>1 事業概要 大学生を中心とするボランティアが、自主学習を行っている児童・生徒等の見守りや、求めがあれば予習・復習、宿題の支援を行った。</p> <p>2 R4年度の活動内容 ○実施日 ①永山図書館休館日の午後1時～午後5時 4月～3月 計45日間 ②夏期休暇中の午後1時～午後5時 7月～8月 計7日間 ・実施場所は永山公民館2階 音楽室 ○参加者実績(延数) 上記①②合計 児童125名、大学生120名</p>

No	実行委員会	事業の実施状況
8	スープの冷めない“きずな”づくり実行委員会	<p>1 事業概要 低栄養リスクが高いと思われる町内会等を対象に、野菜スープを鍵とし、永山の農業関係者との連携により健康の増進と、人とのつながりによる心の健康維持を図る事業を実施する。</p> <p>2 R4年度の活動内容 ○令和4年10月22日(土) 第2永山団地(1号棟・2号棟・3号棟)107名 ・スープ(永山産の新鮮な野菜を使った豚汁)と新米おにぎりを配付 ・集会所の前で学生からお渡しし、レシピとともに説明をした。 ・自宅への訪問を希望された方も多く、学生が地域のボランティアグループ「かよう会」のメンバーと一緒に訪問。 ・ひとり暮らしの方も多く孤食・個食になりがちであるため、たくさんの野菜と新米のおにぎりは、心温まる食事だったとの感想も聞かれた。 ・学生にとっては地域の住民とのふれあう楽しさ、「かよう会」にとっては、ボランティアとして役割をもって地域にかかわる意義を改めて感じたようであった。 ・コロナ禍でもあり集まる機会が減る中、今回の参加者は107名と大盛況であった。 ・アンケート結果からは、「自分の作ったものより味が薄かったがおいしかった」など、野菜を食べることや減塩を意識することなど、栄養を考えるきっかけにもなった。 ○令和5年2月23日(木・祝)第2永山団地を対象 144名参加 「冬のスープ」のきずなづくりを実施し、前回を上回る参加があった。</p>
9	永山健康マイレージ実行委員会	<p>1 事業概要 健康長寿のための3つの柱は”栄養・身体活動・社会参加”。 高齢期だけでなく、若い頃からの運動習慣・食生活・食べるためのおくちの手入れ習慣の重要性に着目し、3つの習慣付けを促進する事業を実施した。 取組①「動く」 永山市民交流センターウオーキングコースの整備 取組②「食べる」 栄養のチラシ(1日に取りたい食品)の配付 取組③「おくち」 毎日朝晩歯みがき、おくち対象の推奨</p> <p>2 R4年度の活動内容 ○実行委員会を4開催(4回目は3/29) ○永山健康マイレージチラシ等の配布 約900部 ・永山健康マイレージチラシ、おくち・栄養チェック表、健口体操パンフレット ○マイレージ講話 16団体 334名 講師：旭川大学短期大学部 豊島教授、学生 食生活改善推進員 道德氏 旭川地域歯科医療連携室歯科衛生士 吉岡氏 永山地域包括支援センター保健師 楠本氏 *講話を聞けない方のために、動画作成、DVD配付 ・マイレージ動画作成 再生回数 25回 ・DVD希望者0名 ⇒ 高齢者が多く、2次元バーコードの読取りは難しかった。 ○おくちの健康調査(260名)結果 ・取組前 おくちの弱りのリスクが高い 51.2% リスクあり 15.4% ・取組後 おくち体操をするようになった。52名 朝晩歯みがきをするようになった 25名 など ○栄養調査結果(260名) ・取組前 低栄養の恐れあり21.8%、低栄養1.3% ・取組後 品目が足りていないと気づいた。38名 いろいろな食品を食べるようになった。37名など ○マイレージ応募数 87名 ・地元企業の協力により、応募者には抽選会を実施し、レシピ食材セットやジנגスキャン、ヤクルトなどを贈呈した。</p>

No	実行委員会	事業の実施状況
10	永山南きづな・ほのぼのバザー実行委員会	<p>1 実施事業の概要 障がい事業所が作成したパンや手作りマスク等を認知症当事者や障がい者が役割を担いながら販売するバザーを開催することで、「認知症になったら、障がい者になったら何もできない!」というイメージを払拭しつつ、当事者が活躍でき、再度、社会に繋がることができる場とする。</p> <p>2 実施内容 ・永山南きづな・ほのぼのバザーの企画・会議の実施 ・認知症、障がい当事者の方の活動の場の提供 ・開催について地域への周知活動と地域住民の参加促進 ・地域企業との連携</p> <p>3 R4年度の活動内容 ・今年度は実行委員会議の機会も持てず、電話等にてバザーの開催は難しいであろう意見を聴取し、活動は中止とした。</p> <p>4 成果と課題 今年度はコロナウイルスによる緊急事態宣言やまん延防止重点措置などの強い行動規制はかけられなかったが、感染者数としては、最も多かったことにより、実行委員自体が感染者、濃厚接触者となったり、福祉関係機関もクラスターとなったり、自身の事業所にて面会制限等をかけている中で、なかなか活動へ協力する余力や状況的に難しいという意見も多かったため、活動は中止をすることとなった。 次年度はコロナウイルスの感染法上の捉え方が見直されるので、状況を見据えながら活動について再検討していく。</p>
11	永山南地域ボランティア養成実行委員会	<p>1 実施事業の概要 今後、ますます高齢化が進み、よりインフォーマルサービス等を必要とする方が増えていくことも予想されるため、地域で活動出来る方の把握を行い、現役世代や福祉関係機関も巻き込みながら困り事のある地域住民を永山南地域の力で支えられるような体制構築を目指す。まずは、毎年相談が多く需要がある「除雪」に焦点を当ててボランティア養成、体制づくりを進めていく。</p> <p>2 実施内容 ・地域で出来ることやボランティア募集のため案内やアンケートの実施 ・ボランティア養成のための研修会実施</p> <p>3 R4年度の活動内容 ・12月頃より、打ち合わせ会議を3回実施。 ・旭川永嶺高校の生徒による除雪活動実施。⇒2/22、3/8、3/22、3/29 除雪を行う必要がない場合は、見守りや、対象者と生徒の交流の機会とした。</p> <p>4 成果と課題 コロナウイルスの感染者増により、今年度は会議の機会もなかなか持てず、主だった活動は行えなかったが、感染が少し落ち着きを見せてきたタイミングにて会議を行い、結果としては永嶺高校の同好会活動として、地域の除雪に困っている世帯に対して、同好会に参加をしている生徒が無償で除雪活動を行うことに繋げることが出来た。 話を進められたのが、年度末近かったため、活動を行う機会は多く持てなかったが、次年度の冬シーズンにも引き続き実施してもらえるよう、事前準備は行っていく想定。</p>